

次号予告

特集 精神分裂病の作業療法

総論：精神分裂病のリハビリと

作業療法（歴史的変遷と現状）……昭和大学・精神医学 関 英 馬
精神療法的作業療法……いぬお病院 平 野 寛 子

社会適応訓練と就労援助

(1) 入院治療を中心に

（外勤・中間施設・職親制度）……大阪府立中宮病院 時 武 治 雄

(2) 地域精神医療を中心に……北海道立精神衛生センター 安 達 克 己

長期入院と作業療法……山梨日下部病院 富 岡 詔 子

<総合コメント>……東海大学・精神医学 岩 崎 徹 也

と び ら ……産業医科大学 緒 方 甫

講 座 交流分析（Ⅱ）……聖マリアンナ医科大学 深 沢 道 子

プロGRESS 精神障害者福祉法にのぞむもの……山田病院・創造印刷 臺 弘

リハビリテーション・インフォメーション

<広島県>……県立広島病院 馬場 久夫・他

<長野県>……信州大学病院 丸茂 周二・他

あ ン て な 理学療法士・作業療法士教育に関する

関連法規（Ⅰ）……東京都養育院 松 村 秩

資 料 第16回 理学療法士・作業療法士試験問題

一模範解答（Ⅰ）（1981年度）

編集後記

桜も満開となって、学会、研修会も盛んに開かれる時期になった。

今回の特集は「物理療法」をとり上げた。物理療法自体は非常に古い歴史をもっているが、リハビリの分野では影のうすい存在になってきている。

しかしながらME機器の進歩はすばらしく、医学の分野にも貢献してきている。このMEがリハビリの分野においても応用され始めており、その紹介も含めて「MEの発展と物理療法への応用」を福井氏に執筆頂いた。あらためて、多くのME機器が利用されているのに気付く。

リハビリにおける重要な代償機能の開発にも応用されており、今後はこの方面における発展が期待される。

寒冷療法はわりと新しいものであるが、わが国と比較して欧米ではかなり使われている点を我々も考え直してみる必要がある。

今回は山内氏に「極低温療法の応用と運動療法」を執筆して頂いた。この極低温療法も運動療法と組み合わせて使用することで効果が期待されるのである。この点をよく理解しておく必要がある。

通電刺激による新しい試みが初山論文により紹介されている。

末梢循環障害に対するVasculatorの治療例が浅野氏により紹介され、針刺激の臨床応用は和才氏が執筆された。

浅野、和才両論文の領域は、ほとんどのPTにとってはあまり経験しないことかも知れないが、紹介する意義は十分にあると思う。

本号より、深沢氏による“交流分析”の講座がスタートすることになったが新しい分野だけにおおいに期待される。

（松村 秩）

<編集顧問>

天 児 民 和
九州労災病院名誉院長

五 味 重 春
埼玉県生活福祉部

砂 原 茂 一
国立療養所東京病院名誉院長

津 山 直 一
東京大学教授・整形外科

水 野 祥太郎
川崎リハビリ学院長
（五十音順、以下同じ）

<編集委員>

上 田 敏
東大リハビリ部

荻 島 秀 男
リハビリテーションペ
イン（痛み）クリニック
くわらび診療所

大喜多 潤
兵庫県リハビリセンター

寺 山 久美子
都心身障害者センター

富 岡 詔 子
山梨日下部病院

奈 良 勲
金沢大学医療技術短大

福 屋 靖 子
筑波大学

松 村 秩
都養育院リハビリ部

<編集同人>

安 達 克 己

池 田 俊 雄

伊 東 元 夫

宇都宮 初 幸

大 丸 幸 翼

金 子 矩 子

鎌 倉 伊 昌

紀 木 信 子

木 村 治 夫

駒 沢 馨 明

佐 藤 明 子

嶋 田 昌 家

鈴 木 正 明

関 橋 久 長

高 屋 隆

橋 元 子

橋 沢 しげ子

藤 矢 令 子

山 下 隆 昭

（担当 細田・西塚）